

第 3 回 「京環境配慮物」 の 顕 彰

趣 旨

京都の建築物は、京都が培ってきた、豊かな自然環境や歴史、景観を大切にしながら暮らす智慧を生かした文化によって生み出され、共に育まれてきました。京都にふさわしい環境に配慮した建築物とは、そのような文化に由来した技術だけに頼らない環境配慮のあり方をカタチにしたものであり、環境負荷の少ない地域産材の利用や自然エネルギーの活用、周辺環境や地域の歴史性への配慮等を取り入れたものなどが挙げられます。

京都市では、そうした建築物を広く知っていただくため、平成24年度に「京都市環境配慮建築物顕彰制度」を創設し、それらの建築物を「京（みやこ）環境配慮建築物」として顕彰しています。

平成28年度は、第3回目の顕彰を実施し、「京（みやこ）環境配慮建築物」を選定いたしました。

募 集

対象となる建築物 京都市内の建築物で、平成26年4月1日から平成28年10月31日までに新築、増築又は改修の工事が完了した建築物（ただし、既に応募のあったものを除く。）で、募集要項に従って応募のあったもの

募集期間 平成28年9月30日（金）～平成28年10月31日（月）

選 考 等

選考方法 「京都市環境配慮建築物選定会議」において、応募建築物のCASBEE京都*1の評価結果及び応募者から提案された京都にふさわしい環境配慮の取組*2をもとに、総合的に評価を行い、必要に応じて現地審査を行ったうえで選考を行いました。

そこでの意見を踏まえ、市長が受賞建築物を決定しました。

※1 CASBEEとは国土交通省の支援のもとに開発された建築物の総合的な環境性能を評価するシステムで、CASBEE京都は、全国版のCASBEEをベースに京都が目指すべき環境配慮建築物を適切に評価、誘導できるように見直しを行ったものです。環境配慮建築物として持つべき性能や低炭素化に対応する新しい技術などの評価項目とともに、京町家等に見られる暮らし方の智慧や技術、自然と結びついた景観の考え方など京都らしい評価項目がきめ細かく盛り込まれています。

（CASBEE:Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency）

※2 以下に代表されるいずれかの取組がなされた建築物

- 軒や庇による外壁の保護、間取りの可変性や設備の更新性により長寿命化が図られた建築物
- 環境負荷の少ない地域産木材、古材が活用された建築物
- 周辺環境や地域・コミュニティ、既存の自然環境に配慮した建築物
- 歴史性に配慮した建築物
- 自然材料の利用により、景観・環境へ寄与した建築物
- 自然環境・エネルギーを積極的に活用した建築物
- その他環境に配慮している建築物
- その他環境配慮に寄与する運用上の工夫がなされた建築物

最優秀賞の選定について

最優秀賞については、「京都市環境配慮建築物選定会議」において高い評価を得た上京区総合庁舎を選定いたしました。内装や外装などに相当量のみやこ杉木を利用するなど、京都らしさを踏まえた環境配慮を意識した取組の姿勢が特出している点や、京都市の建築物ではありますが、地域に開かれた施設であり、より多くの市民の方に環境に配慮された建築物に触れてもらい、環境配慮建築物を広く知っていただくという本顕彰制度の目的に合致している点が評価されました。

受賞建築物

最優秀賞

- 上京区総合庁舎（上京区）

優秀賞

一般建築物新築部門

- 数研出版関西本社ビル（中京区）
- 京都木材会館（中京区）

戸建住宅新築部門

- 方形ハウス（左京区）

一般建築物改修部門

- 京都駅ビル（下京区）

戸建住宅改修部門

- さらしや長屋（下京区）

特別賞

- 京都府立清明高等学校（北区）
- 島津製作所 E1号館（中京区）
- 外市秀裳苑ビル（下京区）
- 京都銀行西七条支店（下京区）

環境建築賞

- 京都ノートルダム女子大学 ユージニア館（左京区）
- ノートルダム学院小学校 本館（左京区）
- ロームシアター京都（左京区）
- 京都御前ビル（中京区）
- 洛陽総合高等学校（中京区）
- 京都府南警察署（南区）
- ワコール新京都ビル（南区）
- 土間のある家（中京区）

奨励賞

- 京都大学 国際科学イノベーション棟（左京区）
- グランドメゾン京都岡崎（左京区）
- グランドメゾン京都御池通（中京区）
- 漢検 漢字博物館・図書館（東山区）
- 洛和会音羽リハビリテーション病院（山科区）
- 京都市崇仁市宮住宅53棟（下京区）
- 京都鉄道博物館（下京区）
- GSユアサ京都事業所 東18号棟（南区）
- イオンモール京都桂川（南区）
- パークシティ桂ジオ（西京区）